

二〇二〇年度

群馬県立女子大学文学部国文学科
外国人留学生特別選抜試験

専門科目試験問題・解答用紙

(注意事項)

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子さつしを開かないこと。
- 2 試験時間は、午前十時～十一時四十分(二〇〇分)です。
- 3 解答は、すべてこの問題冊子の指定された箇所さつしに書きなさい。
- 4 試験開始直後に、指定の箇所かしょに受験番号と氏名を記入すること。

受験番号				

氏名

問題一

次の①～⑩の作者名または編者名を、それぞれ後の語群ア～ソから選んで、その記号を（

）に書きなさい。

- ① 奈良時代の歌集である『万葉集』の編者とされる人は誰ですか。 ()
② 平安時代の日記文学である『土佐日記』の作者は誰ですか。 ()
③ 鎌倉時代の歌集である『金槐和歌集』の作者は誰ですか。 ()
④ 室町時代の能楽論書である『風姿花伝』の作者は誰ですか。 ()
⑤ 江戸時代の小説である『好色一代男』の作者は誰ですか。 ()
⑥ 明治時代の歌集である『みだれ髪』の作者は誰ですか。 ()
⑦ 明治時代の小説である『たけくらべ』の作者は誰ですか。 ()
⑧ 大正時代の詩集である『春と修羅』の作者は誰ですか。 ()
⑨ 昭和時代の詩集である『智恵子抄』の作者は誰ですか。 ()
⑩ 昭和時代の小説である『斜陽』の作者は誰ですか。 ()

【語群】

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|---|-------|---|------|
| ア | 樋口一葉 | イ | 夏目漱石 | ウ | 井原西鶴 | エ | 宮沢賢治 | オ | 川端康成 |
| カ | 上田秋成 | キ | 大伴家持 | ク | 世阿弥 | ケ | 与謝野晶子 | コ | 兼好法師 |
| サ | 紀貫之 | シ | 源実朝 | ス | 太宰治 | セ | 高村光太郎 | ソ | 紫式部 |

(問題二は、次のページです。)

問題二

次の文章は鎌倉時代頃に成立したとされる随筆『徒然草』の一節です。よく読んで後の問いに答えなさい。

家居の①つきづきしく、あらまほしきこそ、仮の宿りとは思へど、a興あるものなれ。
よき人の、②のどやかに住みなしたる所は、さし入りたる月の色も、一際、しみじみと③見ゆるぞかし。今めかしく
きららかならねど、木だち、ものふりて、わざとならぬb庭の草も心あるさまに、簀子・透垣のたよりをかしく、うち
ある調度も昔覚えてやすらかなるこそ、心にくしと見ゆれ。
多くの工の心を尽くしてc磨きたて、唐の、d大和の、めづらしく、えならぬ調度ども並べ置き、前栽の草木まで心
のままならず作りなせるは、見る目も苦しく、いとわびし。④さてもやは、ながらへ住むべき。また、時のまの烟と
もなりなむとぞ、⑤うち見るより思はるる。大方は、家居にこそ、ことさまは推し量らるれ。

(注1) たより＝配置の具合

(注2) 心のままならず＝あるがままでなく

(注3) ことさま＝家主の心ばえ

問一 傍線部 a 「興」、b 「庭」、c 「磨」、d 「大和」の読みを現代かなづかいで答えなさい。

a) () b) () c) () d) ()

問二 傍線部①「つきづきしく」②「のどやかに」③「見ゆる」を現代のことばに訳しなさい。

①) () ②) () ③) ()

問三 傍線部④「さても」の指示内容を簡略に答えなさい。

()

問四 傍線部⑤「うち見るより思はるる」を現代のことばに訳しなさい。

()

問題二

「ことばの曖昧さ」^{あいまいさ}について、あなたの考えを述べなさい。字数は五〇〇字以上六〇〇字以内とします。

600 500 400 300 200 100